

第3回沢登り講習会～秋霧谷～

【報告者】カズマ

【日時】2019年7月28日

【天候】晴れ

【参加者】O原、F谷、I藤、H塚、S田、K崎、K出、N井、みっちー、H田
T岡、カズマ

《コースタイム》

8:00 行動開始 (LAMP のキャンプサイト) ～ 8:30 アキキリ谷出会い ～ 12:45 遡行終了 (縦走路) ～
13:00 下山開始 ～ 14:00 下山終了

《 報 告 》

当初の予定では3チームに分かれて、三枚谷、秋霧谷、センスジ谷をそれぞれ遡行する予定だったが、沢登り講習会参加者全員で、秋霧谷を遡行することになった。

秋霧谷の出会いは、登攀しやすい小さな滝が続いており、そこを登っていく。出会いの様子を見る限りでは、水量は少なく、幅のせまい沢登りになるかと思ったが、そんなことはなかった。遡行していくうちに、水量も多くなっていき、また登攀しやすい滝がいくつもあったので、シャワークライミングを楽しむことができた。

大きな滝を巻いたり、ロープ登攀で進んでいくうちに、この沢の名物である100m以上続く長いナメにたどり着いた。見上げても、見下ろしても、ナメの溪相は圧巻で美しかった。

長いナメを登り終わると、いくつか小さな滝がつづいており、水流の中を登っていく。秋霧谷は、水につかりながらざぶざぶと登っていくのではなく、このようなシャワークライミングをしながら登っていくことが多かった。

上流の二俣付近にたどり着くと、急に水流がなくなりガレ場となった。ガレ場の中を歩くのは落石の危険があるので、左俣から支尾根に向かって登って行った。

支尾根に登るまでと支尾根から縦走路に出るまでは傾斜がきつく、汗をだらだらかきながら、息も絶え絶えとなりながら登っていった。その分、縦走路に出た時の爽快感は大きく、激しい運動の後の、水と行動食はものすごくおいしかった。